

東京都臨床検査技師会 平成24年度 第7回理事会議事録

日 時：平成24年11月21日（水）19時00分～21時00分

場 所：都臨技事務所

出席者：下田，千葉，小松，宮崎，原田，高城，中西，井上，鈴木，工藤，土橋，蝶名林，石橋，大野，三橋
多田，佐藤，松村，小山，東海林監事，出井役選委員

議 長：下田

1. 行動報告（理事）

10月9日（火）	渉外部会	原田，多田，佐藤
10月10日（水）	S T I 予防委員会	原田，佐藤
10月22日（月）	学術部会	高城，中西，蝶名林，大野
10月26日（金）	学会運営部	宮崎，高城，工藤
11月1日（木）	学会運営部	高城，中西，大野
11月2日（金）	組織部会	杉岡，千葉，原田，三橋，多田，松村，蝶名林，佐藤
11月3日（土）	学会運営部	下田，小松，高城，中西，鈴木，大野，工藤
11月4日（日）	学会運営部	下田，小松，高城，中西，鈴木，大野，工藤
11月5日（月）	会計部会	鈴木，土橋
11月6日（火）	表彰選考委員会	千葉，小松，工藤
11月6日（火）	学会運営部	小松，高城，中西，大野
11月13日（火）	学会運営部	小松，高城，中西，鈴木，蝶名林，大野
11月15日（木）	データ標準化委員会	中西

2. 報告事項

1) 平成24年度第6回理事会議事録の内容確認

2) 各部局報告

○組織部

【報告事項】

<部長報告>

・施設連絡者会議に関して

日時：平成25年2月8日（金）

場所：社会保険中央病院 19時～（受付18時30分～）

議題（案）：法人化に向けての動向（代議員制について，その他進捗）

・健康まつりでのクレームに関して

測定後指先が痺れるといった相談が新宿区へあり中部地区で対応した。

<各地区報告>

・東部地区

江東区民まつり：10月21日（日）都立木場公園 血管年齢測定

参加者：合計461名（男性114名，女性347名）

・西部地区

地区親睦B B Q：11月3日（土）11:00～15:00 品川フィッシュガーデン

参加者：合計35名（会員23名，非会員12名）

公開講演（ズンバ）：12月8日（土）15:00～17:00 渋谷・宇田川レンタルスタジオ Ast

・南部地区

大田健康まつり：10月28日（日）多摩川丸子橋緑地 雨のため中止

・北部地区

いたばし健康ネット博2012：11月22日（木）板橋区立グリーンホール 血管年齢測定

・中部地区

大新宿まつり ふれあいフェスタ 2012：10月21日(日) 東京都立戸山公園 血糖測定
参加者：合計560名(男性178名, 女性382名)

・多摩地区

稲城市健康まつり：10月8日(月・祝) 稲城市立総合体育館 骨密度測定
参加者：合計407名

・小平市民まつり：10月21日(日) あかしあ通り 血管年齢測定
参加者：合計430名

<フォーラム委員会>

テーマ：「これが聞きたい！！ チーム医療」 ～事例から学ぶ院内感染対策～

日時：平成25年1月19日(土) 15時～18時

場所：堀場製作所

講師：講演 1 松永 直久 先生(帝京大学医学部附属病院 感染制御部部长)

講演 2 川上 小夜子 技師(帝京大学医学部附属病院 感染制御部)

講演 3 園部 一成 技師(日本医科大学附属病院 中央検査部)

【検討および確認事項】

- ・南部地区にて開催予定の大田健康まつりが雨のため中止だったため、日臨技助成金を北部地区に変更し実施する予定である。
- ・施設連絡者会議に関して、開催日程や議題内容等を協議した。

○渉外部

【報告事項】

特記事項なし

【検討事項】

・公開講演会について

テーマ：「ココ・カラ発信！～こころとからだの守り方～」

日時：平成24年12月1日(土) 14:00～16:45

場所：中野サンプラザ7階研修室8

講師：新宿さくらクリニック院長 澤村 正之 先生

日大駿河台病院 精神神経科部長 渡邊 登 先生

各担当決定及び進捗状況確認

会場設営に関して林幹事の会場報告に基づき、180度回転した配置とする。

講師担当：森・鈴木・栗田

会場責任者：白石

司会：神保

写真：福良

ポスター：中山幹事作成ポスターについて最終調整をし、印刷。各会員施設及び大新宿まつりにて配布。

受付担当：浅野・平山・多田

会場誘導：板橋・林・佐藤

当日、午前中に街頭活動をSTI予防委員が中心となって実施する(渉外部としても協力する)。

配布物等については、STI予防委員会で検討中。

・来年度予算について

基本的には昨年度予算を踏襲することとする。

新規企画：①学生対象講演会を年2回開催(学生会員制がスタートするため)

②技師会手提袋については、各地区にて開催されるまつり及び毎年開催となる学会での配布を踏まえ必要数を3000と見込み、今までの紙袋からエコバックに変更し作成する。

○学術部

【報告事項】

- ・前回議事録確認

<理事会>

- ・「役員行動費等調整委員会」が設置されたことが報告された。
- ・日臨技で「学術組織再構築に関する検討委員会」が設置されたことが報告された。
- ・研修会の参加費について
都臨技以外の（他県）会員の参加費について討議した。
研修会開催には約 800 円/人程度の費用が発生していること。
他県では会員であっても数百円程度の会費を徴収しているとの報告があった。
この点を踏まえて意見を求めたところ、以下のような意見が出された。
 - ・非会員は現在 3000 円を徴収することになっているが、他県会員にこの金額を適応することになるのは高額すぎるのではないか。
 - ・研究班としては参加者が多いほうがうれしいので、参加しやすい金額を設定する必要があるのではないか。以上より参加費として 1000 円程度を徴収することが妥当なのではないかということでもとまった。また、これに関連して、研修会受付時の申請中の方の取り扱いについて、いつまでも申請中と記載される方がいることや後の参加者登録実施時に会員として登録がない人がいるとの指摘があった。
この対策として、ノートパソコンに最新版の会員名簿（データベース）を登録しておき、逐次確認するという意見が出されたが、受付時は煩雑で現実的ではないという意見も出された。
また別の意見として、会員証を忘れた方には所属、氏名、連絡先を書いてもらい、会員でないことが判明した時点で注意喚起するようにするなどの意見が出された。
- ・特別講習の開催日程について
一般と情報の開催予定日が一緒になっているが、このような研修会の日程は重複しないことが望ましいとの指摘があった。現在情報に日程の変更を依頼中。
- ・来年より源泉徴収の税率が変更となるため、注意してほしいとの報告があった。

<編集委員会>

- ・11/20 が 2 月号の入稿日であるので、期限に間に合うように原稿を提出してほしい旨報告があった。
- ・会誌で理事に原稿を書いてもらった場合に原稿料を払わないという規定がある。
（理事としてではなく原稿を書いた場合も同様）
理事として原稿を書いたのではない場合は、原稿料を払ってもいいのではないかという意見が出され、各班長の了解を得た。

<精度管理調査委員会>

- ・都臨技サーベイの試料発送が 10/16 に行われたこと、手引書は HP よりダウンロード可能であること
- ・次年度、凝固検査についてサーベイに追加するか検討中であること
- ・11/15 日臨技の施設認証の審査を行う予定であること が報告された。

<生涯教育委員会>

該当は 7 回あり。自己申請 8 名あり。

江戸川まつりと小平まつりの行事登録が抜けてしまったため、現在登録中。

<学会関係>

1) 第 9 回東京都医学検査学会

- ・第 2 回実行委員会を 11 月 13 日に開催予定。
- ・参加可能な実務委員名簿を今月末に提出してほしい。
- ・一般演題の登録締め切りを 10 月 31 日に延期した。（10/18 時点で登録演題数は 8 題）
- ・各分野に査読をお願いする予定。（抄録をどのような形で渡すのかは未定）

2) 第 2 回日臨技首都圏支部学会

- ・11 月 3（土）～4（日）に開催される第 1 回首都圏支部学会（横浜）で広報活動をする予定。
- ・研究班企画を考えてほしい。（担当研究班は都臨技学会で研究班企画を担当しない研究班）

3) 第 62 回医学検査学会

- ・座長推薦依頼が来ている。推薦用紙を事務所に F A X してもらう。

<来年度予算について>

各研究班より提出された来年度予算案について確認を行った。

<税制変更の対応について>

来年（平成 25 年 1 月）より源泉徴収の税率が引き上げになる。領収書には、報酬額/源泉徴収税額を記載するようにと伝達した。

<その他>

- ・日臨技より医学検査投稿論文について募集依頼あり、東京都は該当なしとして報告することとなった。
- ・日臨技助成金講習会の取り扱いについて 2 点の質問が出された。
収支を 0 にするようにと書かれていることについて
諸経費が 5 万円に満たなかった場合について
以上について、高城学術部長が確認することとなった。

【討議事項】

<共催・協賛のあり方について>

他団体の「協賛・共催」について書かれた文章類を参考にしながら討議を行い、以下に出された意見を列挙する。

- ・共催は同等の立場でないとまずいのではないか（費用の負担も含めて）
- ・メーカーは協賛のみにする
- ・協賛依頼状を作っている研究班もあるが、現状では都臨技の協賛申請書がない。都臨技のフォーマットが必要である。また、会長名で発行するのが望ましいのではないか。（公文書化？）
- ・都臨技が協賛金を取って各研究班に配布するという意見も過去に出ていたがどうなっているのか。
メーカーは自分たちの宣伝したい内容に沿った研修会には協力してくれると思うが、協賛金だけ徴収しようとしても集まらないのではないか。
- ・研修会の開催を立案する段階で、テーマをメーカーに依頼すると、適する講師を紹介してくれることもある。
- ・メーカーの人を講師として呼んだ時に講師料を支払っているか？メーカーに聞くと知らないと言われるので払っていない。払ったとしてもメーカーに納めることになるので、講演してくれた人が受け取れるわけではない。
- ・共催・協賛という名前ではなく、P R 講演の代金として協力すると言われたこともある。

以上の意見を踏まえて、再度共催のあり方について討議した。

- ・メーカーと他団体とは分けて考えるべきであろう。
- ・予算としてつくのが大きい。
- ・他県との共同開催の時の規定は設けてもよいのか。
- ・文章化は必要である。
- ・今まで通りの方が楽。公益化でしっかりしなければならぬのであれば、一般的にはどうなのかを調べ、それにのっとった方がよいのでは。
- ・申請書は班長名か会長名で出すのかはっきりさせた方がよいのではないか。
- ・全費用メーカー任せではなく、会場費など一部負担することについては賛成
- ・予算がないから（共催を）お願いしているのが現状
- ・公益にひっかかるのがポイント。ひっかからないのであれば、現状通りでいいのではないか。
- ・足並みをそろえた方がいいのでは。
- ・共催・協賛についての定義がない。
- ・企業からもらった講師料は税込みか税抜きか統一していない。

などの意見が出された。

○学会運営部

【報告事項】

- ・第9回東京都医学検査学会 10月26日 会場下見
10月31日 演題締め切り 55演題申込み（うち学生演題数4）
11月6日 演題仕分け，会場プログラム策定
- ・第2回首都圏医学検査学会 11月1日 会場下見
11月3～4日 第1回首都圏医学検査学会（横浜）次回開催担当PR

○庶務部

【報告事項】

- ・現在の会員数及び賛助会員数の報告（平成24年10月31日現在）
会員数 4,277名
平成24年度賛助会員数 73社

○会計部

【報告事項】

- ・平成24年10月の予算管理月報，他3表を作成し報告
- ・平成24年10月31日現在の会費収入状況報告
- ・平成24年10月の主な事業活動収支報告
収入：事業収入（日臨技助成金 STI 予防啓発教育事業費，データ標準化参加費など）
支出：データ標準化資料送付委託費用など
- ・中間監査
中間決算報告書の確認を行った。
- ・平成25年度予算案および第2回首都圏医学検査学会予算案を提示した。
修正案は近日中に会計部長まで申し出て頂きたい旨が伝えられた。

○事務局

【活動報告】

- ・10，11月の事務局の主な活動
第9回東京都医学検査学会委嘱状発送
第62回日本医学検査学会一般演題座長候補者推薦取りまとめ

3) 各委員会報告

○編集委員会 学術部報告を参照

○生涯教育制度実行委員会

【報告事項】

- ・生涯教育対象行事（10月）
都臨技研修会 11件 登録者数 678名
- ・申告
会場研修 5件 登録者数 36名

○役員選出委員会

【検討事項】

- ・理事退任に関して
現在，退任を希望している理事がおり対応について協議した。
- ・今後のスケジュール確認
平成25年5月の理事会に公示・推薦状等文書を提出し，会誌8月号に掲載予定とする。

○表彰選考委員会

【報告事項】

- ・平成 24 年度新春のつどいおよび各賞受賞祝賀会での今年度の各賞受賞者について

叙勲 瑞宝双光章

千葉 正志（公益財団法人東京都医療公社 豊島病院）会員 No. 133372

東京都臨床検査技師会 名誉会員

後藤 清（自宅）会員 No. 130223

日臨技学術奨励賞 優秀論文賞

加賀 宏（帝京大学医療技術学部臨床検査学科）会員 No. 130988

第 28 回 緒方富雄賞

堀井 隆（順天堂大学医学部附属順天堂医院）会員 No. 132571

- ・福見秀雄賞候補については 沖田 政義 氏を推薦することで決定しており現在提出書類作成中。

【検討および確認事項】

- ・平成 25 年度秋の叙勲・褒章推薦について

推薦候補として、岩田 進 氏（元日臨技会長，都臨技名誉会員）を検討。永瀬委員から打診していただく。

- ・小島三郎記念技術賞候補者について

前回 3 名の候補者より人選する話し合いを行い，今回委員会で奥田 誠 氏（東邦大学医療センター大森病院）を推薦することとした。奥田氏には安部委員より打診していただき，本人の了承が確認できしだ提出書類作成に着手することとする。

- ・例年，近々推薦依頼が届く東京都功労者表彰（都知事）については選考要件等の推薦基準からすると，都内勤務の検査技師では受賞は難しいと考える。

- ・その他各賞受賞者に該当する人選をおこない順次推薦していくように各委員配慮する。

- ・日臨技「医学検査」の論文表彰について

特別論文奨励賞ならびに優秀論文賞については表彰選考委員会から推薦していく方向で検討する。

今年「医学検査」に掲載された原著論文から該当するものを選考していき，次回の委員会で決定する予定。

- ・その他都臨技会員で他の学会等から表彰されているなどを推薦委員会で把握するよう配慮していく。

○都臨技データ標準化・精度管理調査委員会

【報告事項】

- ・平成 24 年度都臨技精度管理調査 参加施設数 191 施設（医療機関 170 施設，メーカー 21 施設）

- ・日臨技精度保証施設認証（都臨技からは 21 施設申請）

申込み期間：平成 24 年 11 月 1 日～11 月 10 日

都道府県審査：平成 24 年 11 月 11 日～12 月 10 日

○STI 予防委員会

【討議事項】

- ・STI 予防啓発のための配布物作成

STI 予防啓発を目的とした都臨技オリジナルのコンドーム，絆創膏を作成し，配布する。

パッケージのデザインは委員が担当する。

- ①コンドーム：1,000 個（1 個入り） 株式会社ジョニーハット製

配布方法：STI 予防教室での教材としての使用，生徒への配布，都臨技学会等イベント会場への設置など。

街頭配布など不特定の人への配布物としては適さない。

目の届かない場所への設置（保健所その他）は品質の保持に対し不安があるといった意見があり効果的な配布方法については今後検討したい。

注意事項：使用期限（製造より 5 年間）に注意する。

その他：後日メーカーにサンプル（2,000 円）を請求し，コンドームの色，中袋の色などを検討する。

②絆創膏 1,000 個(M サイズ二枚入り) 有限会社ヒッズ製

配布方法：街頭配布など。

・街頭活動

日時：12 月 1 日 (土) 10:00～12:00 頃 (渉外部公開講演当日)

場所：JR 中野駅付近 (南口側, 北口側の二カ所)

配布物：絆創膏 (上記)

人員：10～12 名程度 委員を中心に, 不足する場合はサポートスタッフ, 渉外部幹事に依頼する。

その他：中野警察署への道路使用許可申請を行う。

通常開催日の 1 ヶ月前 (11 月 1 日) より受け付ける (担当：佐藤理事)。

配布スタッフは当日都臨技のタスキ (事務所に保管されている白いタスキ) をかける。

・来年度 STI 予防委員会予算について今年度と同等を申請する。

3. 審議事項

○庶務部

新入会員 16 名が提示され, 承認された。

○データ標準化委員会より, 都臨技公印の取り扱いについて以下の提案がなされた

精度管理調査に関する請求書や領収書は日臨技システムを使用しており, 印影を日臨技事務所に預けることで事務処理の効率が良くなるだろうと提案されたが, 公印を他団体に預けることは否決された。別な方法を検討することとなった。

○下田会長より, 関東甲信地区技師会の解消に関する提言がなされた。

今まで行われていた学術研修会などの機能は支部化へ移行することも踏まえ, 都臨技としては「解消」との意見を持って関東甲信地区技師会の理事会に提案する方針となった。

4. 共催許可願い書および特別講習会許可願い書について

○微生物検査研究班より共催許可願い書が 1 件提出され, 承認された

講演名：感染制御講座 (1) 緊急を要する市中感染症

期 日：平成 25 年 1 月 25 日 (金) 18:30～20:00

会 場：東京医科歯科大学 5 号館 4 階講堂

講 師：佐野 彰彦 医師 杏林大学医学部総合医療学教室感染症科

賛助会員名：栄研化学株式会社

○微生物検査研究班より共催許可願い書が 1 件提出され, 承認された

講演名：感染制御講座 (2) 顆粒球減少患者の感染症

期 日：平成 25 年 2 月 15 日 (金) 18:30～20:00

会 場：東京医科歯科大学 5 号館 4 階講堂

講 師：荒岡 秀樹 医師 虎の病院臨床感染症科

賛助会員名：シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

○一般検査研究班より共催許可願い書が 1 件提出されたが, 経費概算について税制変更の対応がなされていなかったため修正することを条件に承認された

講演名：泌尿検査結果から病態に迫る (仮)

期 日：平成 25 年 2 月 21 日 (木) 18:30～20:00

会 場：東京女子医科大学 弥生記念講堂

講 師：横山 貴 技師 東京女子医科大学病院

賛助会員名：東洋紡株式会社

平成 24 年 11 月 21 日 (水)
(社) 東京都臨床検査技師会

議 長 印
(下田)

監 事 印
(東海林)